

SK-8412 作業サポート付きコードリーダー クイックスタートガイド

重要

ご使用前に必ずお読みください

出荷時に診断ソフトはインストールされていません。
登録とアップデートを行ってから、診断を行ってください。



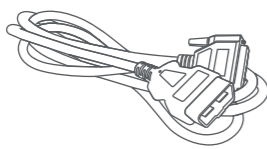
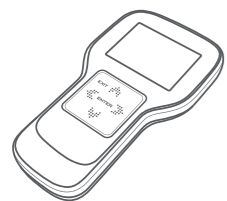
下の画面の場合は診断ソフトがインストールされていない状態です。本書を参考にユーザー登録とアップデートを行って最新の状態でご利用ください。アップデートプログラムは Windows 7 以降に対応しています。



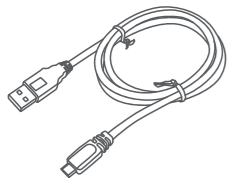
SK-8412 パッキングリスト

本製品のパッケージには以下の商品が含まれています。お使いになる前にご確認ください。

- SK-8412 本体
- OBDIIケーブル(型式:673)



- USBケーブル(型式:674)
- キャリングケース(型式:1024)



- クイックスタートガイド(本書)

※リスト内の製品は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

保証期間について

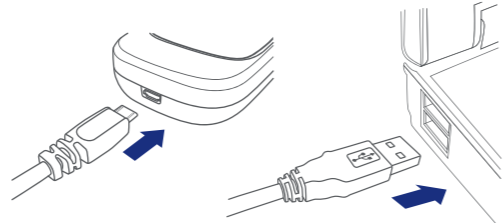
保証期間：ユーザー登録から1年間

期間終了後1ヶ月以内にアップデート延長申込をされた場合に限り、本体保証も1年間延長されます。(付属品は保証対象外)

登録とアップデート

ステップ 1

SK-8412本体とパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。



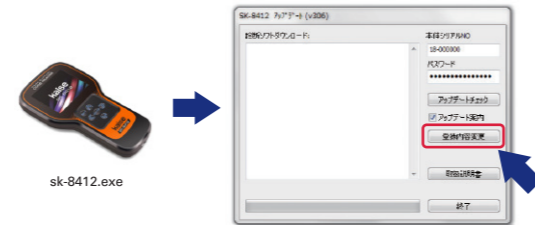
ステップ 2

PC接続モードになり、パソコンに認識されます。「フォルダーを開いてファイルを表示」を押します。



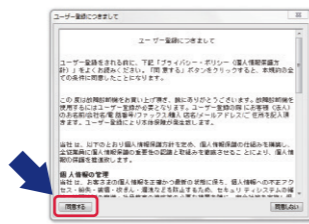
ステップ 3 ※1

「sk-8412.exe」(アプリケーション)を起動して「登録内容変更」ボタンを押します。



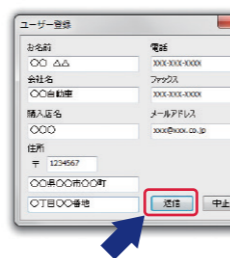
ステップ 4

プライバシーポリシーを読んで内容をよく理解して「同意する」ボタンを押します。



ステップ 5 ※2

「ユーザー登録」画面が表示されますので、各入力欄にお客様の情報を入力し「送信」ボタンを押します。
※入力欄は全て埋めてください。未入力欄があると送信できません。

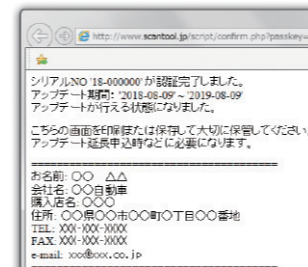


ステップ 6 ※3

送信が完了すると入力したメールアドレスに「admin@scantool.jp」より「scantool.jp 登録受付メール」が届きます。メールを開いて本文にあるリンクをクリックしてください。

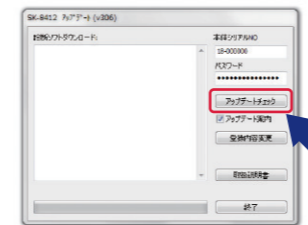
登録認証確認
下記リンクをクリックすると認証が完了します。
<http://www.scantool.jp/script/confirm.php?passkey>

リンクをクリックするとご使用のブラウザで認証完了したシリアル番号とアップデート期間が表示されます。(アップデート期間は登録日より1年間です。)



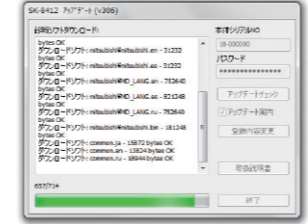
ステップ 7 (アップデート)

認証完了後「アップデートチェック」ボタンを押します。



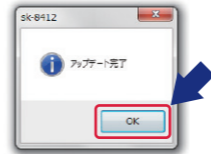
ステップ 8 ※4 (アップデート)

アップデートが始まり、ソフトが本体に書き込まれます。



完了 (アップデート)

「アップデート完了」が表示されましたら「OK」を押してアプリケーションを終了してください。終了後パソコンから本体を外してご使用ください。
※5



注意

セキュリティソフトについて

SK-8412をパソコンに接続した場合、「sk-8412.exe」(アプリケーション)を実行した場合にセキュリティソフトが反応してアプリケーションを削除または隔離したり、通信をブロックすることがあります。その場合は、セキュリティソフトの設定を変更していただく必要があります。

※1:

- パソコンの設定で自動再生が機能しない場合は手でパソコンのドライブを開き「sk-8412.exe」を実行する必要があります。
- Windows7の場合は「スタート」→「コンピュータ」→「SK-8412」を開きます。Windows8/8.1/10の場合は画面下のツールバーから「エクスプローラー」→「PC」→「SK-8412」を開きます。
- 「登録内容変更」ボタンをクリックしても「再試行してください」などのエラーが表示され登録画面が表示されない場合は「アップデートチェック」ボタンをクリックしてください。

※2:

- ユーザー登録画面の入力欄は全て入力してください。未入力欄があると送信できません。
- メールアドレスを間違えると「登録受付メール」が届きませんので、間違えないように必ず半角英数字文字で入力してください。入力が正しくないと同様に「送信できません」のメッセージが表示されます。

※3:

- 「scantool.jp 登録受付メール」が届かない場合は、メールアドレスの間違いや「迷惑メール」フォルダなどをご確認ください。
- 「ステップ5」で複数回「送信」ボタンを押した場合は、その回数分メールが配信されますので、最新の「登録受付メール」のリンクをクリックしてください。
- アップデート期間が表示されていれば認証完了になります。
- 登録した情報は2年目以降の更新申込時に必要になります。印刷や保存などして大切に保管してください。

※4:

- 「書き込み出来ません」などのエラーが発生してアップデートが開始されない場合は、本体内部メモリをフォーマットする必要があります。フォーマット前に必要な以下のファイルをパソコンに保存します。
 - ・sk-8412.exe (アプリケーション)
 - ・pass.ini (構成設定ファイル)
- 保存後フォーマットを行います。フォーマット後保存した2つのファイルを本体内部メモリに戻して再度アップデートを行ってください。

※5:

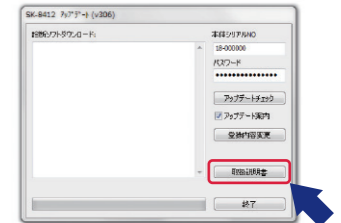
- パソコン側からハードウェアの取り外しを指示してから、本体とパソコンの接続を解除してください。

取扱説明書の保存

取扱説明書はPDFファイルになっています。ご覧になるにはAdobe®READER®が必要です。またバージョンの違いで表示できない場合がありますので最新バージョンをダウンロード/インストールしてご覧になることをお勧めします。

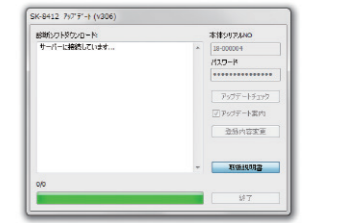
ステップ 1

「SK-8412 アップデート」を起動して「取扱説明書」をクリックします。



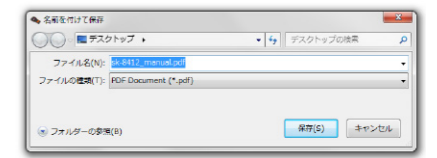
ステップ 2

取扱説明書のダウンロードが開始されます。



ステップ 3

ダウンロードが完了すると保存先を聞いてきますので、任意の場所に保存してください。保存できない場合は、保存場所を変えて保存してください。



ステップ 4

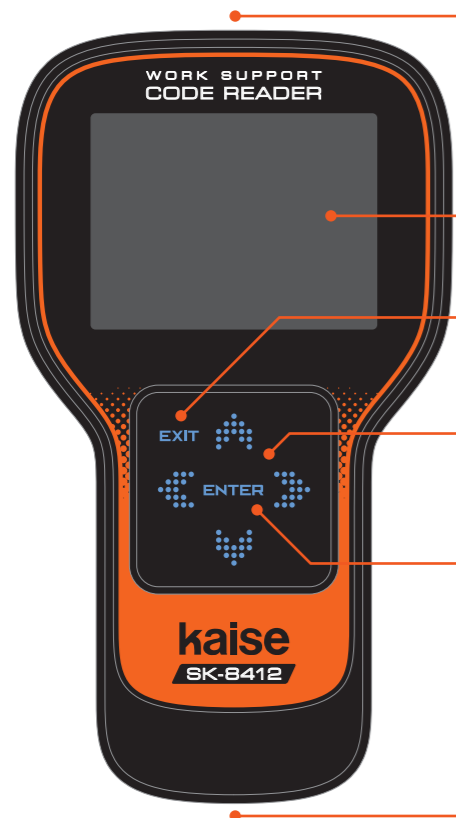
先程保存した場所にダウンロードしたファイルがあります。ダブルクリック(または右クリックで開く)で表示させます。



●お問い合わせ:

カイズ株式会社 製造サービス課
TEL 0268-35-1602 FAX 0268-35-5515
※車両整備の技術的なお問い合わせは、株式会社 日立オートパーツ&サービスの故障診断サポートセンター(有料)をご利用ください。

各部名称



DB15ポート
OBDII ケーブルを接続します。

液晶モニター
各種情報を表示します。

EXITボタン
中止や戻る場合に使用します。

矢印ボタン
画面移動やカーソルの移動に使用します。

ENTERボタン
決定、実行する場合に使用します。

USBポート
付属の USB ケーブルでパソコンに接続します。

画面説明

診断
各種診断を行います。

履歴
保存した故障コードやデータなどを画面に表示することができます。

設定
言語など本体設定を行います。

タイトル
現在のシステムやメッセージが表示されます。

システム
システム名が表示されます。

故障コード数
故障コード数が表示されます。

故障コード
P/B/C/U で始まる故障コード、メーカー独自コードなどが表示されます。

データ保存
データを本体内に保存します。[履歴] メニューまたはパソコンで表示できます。

メインメニュー画面



メンテナンスモード
エア抜きやバッテリー交換時のリセットなど車検整備に必要な項目が集約されています。

DPF
画面表示に沿って、複雑な DPF 強制再生を一連の流れで行えます。

本体 ID
シリアルナンバーおよびアップデート期間を表示します。

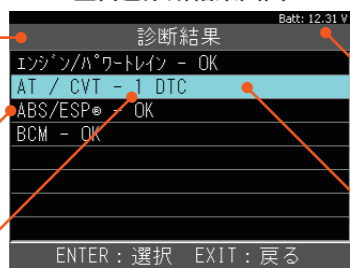
バッテリー電圧
接続されている車両のバッテリー電圧を ECU から読み取り表示されます。

選択カーソル
選択されている項目欄の色が変わり、文字が反転して表示されます。

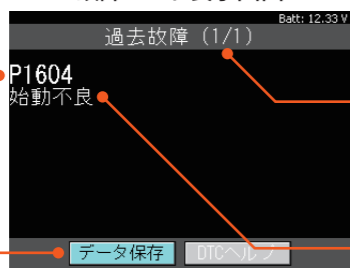
ページ数
ページ数が表示されます。上下キーで表示内容が変更できます。

故障コード内容
故障コードの内容が表示されます。

全自己診断結果画面



故障コード表示画面

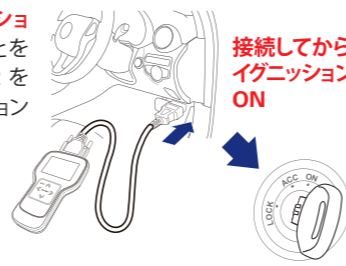


基本操作（診断の手順）

- ソフトのアップデートを行い最新の状態でご使用ください。
- 本体やケーブルに破損や損傷がないか確認してください。
- 診断は基本的にイグニッション "ON" の状態で行ってください。
- 診断がうまくいかない場合はコネクタの接続やイグニッションが ON であるか確認してください。
- 診断を終了する際は「メーカー選択」画面まで戻りイグニッションを OFF にして取外してください。

ステップ 1

車両が**イグニッション OFF**であることを確認してSK-8412 を接続しイグニッション ON にします。



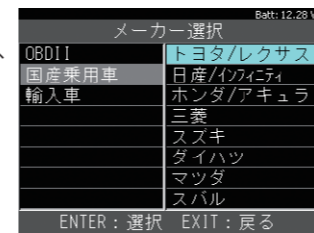
ステップ 2

メインメニューが表示されます。「診断」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



ステップ 3

メーカー選択画面が表示されますので、診断するメーカーを選択して [ENTER] ボタンを押します。



ステップ 4

診断ソフトが起動した後「地域設定」などがある場合は選択して [ENTER] ボタンを押します。



ステップ 5

診断ソフトによっては「自動検出」から診断車両を特定できます。「自動検出」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



ステップ 6

「ブランド」「車名」「型式」などを [ENTER] ボタンを押して順に選択していきます。



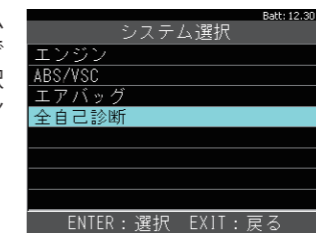
ステップ 7

診断ソフトのメインメニューが表示されます。故障コードの読み取りは「診断」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



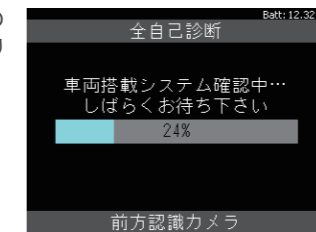
ステップ 8

例では全てのシステムを診断しますので「全自己診断」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



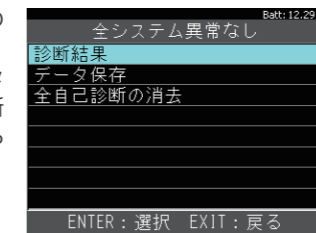
ステップ 9

車両の各システムの故障コードを読み取ります。



ステップ 10

全自己診断完了の画面です。「診断結果」「データ保存」「全自己診断の消去」の項目から選択してください。

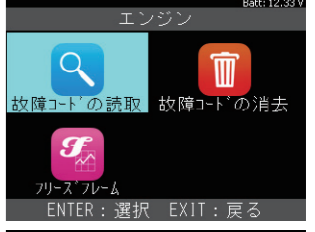


診断結果の表示

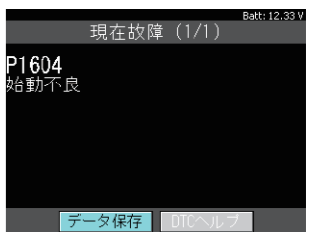
故障コードがない場合はシステム名の後に「OK」が表示されます。故障コードがメモリされている場合は故障コードの数が表示されます。(例：コードが 2 個ある場合「2 DTC」)



故障コードと内容を確認するには希望するシステムを選択して [ENTER] ボタンを押します。続いて「故障コードの読み取り」を選択して [ENTER] ボタンを押します。

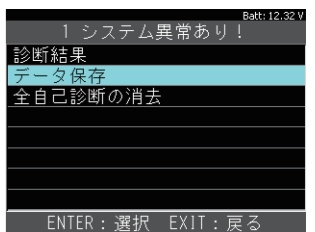


故障コードは番号 (例：P01604) と内容 (例：始動不良) で表示されます。また複数ある場合は上下矢印でその他の故障コードを表示できます。



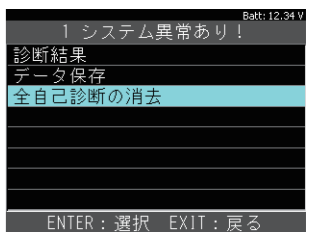
診断結果の保存

診断結果を保存する場合は「データ保存」を選択して [ENTER] ボタンを押します。「保存しました」のメッセージとともに画面中央に保存されたファイル名 (例：Toyota_DTC-001) が表示されます。保存したファイルは「履歴」メニューやパソコンで確認できます。ファイルは本体内の「Reports」フォルダに保存されています。



診断結果の消去

故障コードの消去を行う場合は「全自己診断の消去」を選択して [ENTER] ボタンを押します。各システムの故障コードを消去していきます。



※消去は**イグニッション ON**で行います。

※消去できない場合は、現在も故障が発生しており、現在故障としてコードがメモリされている状態です。

